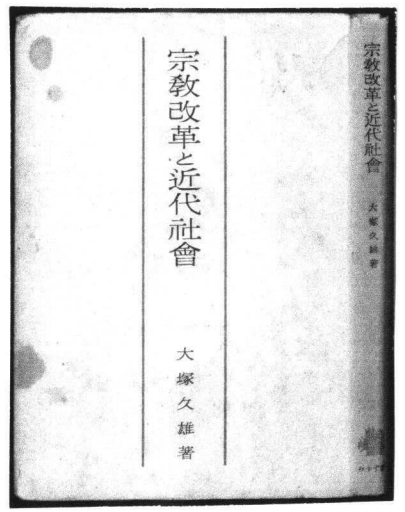


大塚久雄 （おほつかのひさよ） 經濟史學者、經濟學博士。明治四十年五月（二百京都生れ、平成八年七月九日歿（一九〇七一・九一））。昭和五年東京帝國大學經濟學部卒。法政大學・七教大學各教授を經く、二十一年東大教授。マックス・ウエーバー、カール・マルクスの方法を據る（大塚史學）を構築した。平成四年文化勳章受章。

著譯書『再建の指標』（合著・東京帝國大學新聞社編、昭和二十一年十月）『勤勞學徒援護會「學徒叢書」』（、學問と現實「新」社社會科學の發展のため』（合著、昭和二十二年四月）二十五日東京帝國大學協同組合出版部編刊（、『社會思想史十講』（合著・社會思想研究會編、昭和二十二年五月一日社會思想研究會出版部）、『宗教改革と近代社會』（昭和二十二年五月五日みすず書房）、『近代化の人間の基礎』（昭和二十二年九月十日日書院）、『大學生生活』（合著・天野真祐編、昭和二十四年五月）二十五日光文社）、『富一その實體と幻像』（昭和二十七年一月十五日弘文堂「アテネ文庫」）、『株式會社発生史論（個別資本の歴史的研究第一部）』（昭和二十九年八月十五日中央公論社）、マックス・ウエーバー著『プロテスタントイザムの倫理と資本主義の精神』全二冊（梶山力共譯、上巻・昭和二十年二月五日、下巻・二十七年八月十六日岩波書店）

『岩波文庫』（、『共同體の基礎理論』（昭和二十年七月）二十五日岩波書店）、『西洋經濟史講座』全五卷（共編著、



昭和二十五年五月）二十八日（二十七年四月七日岩波書店）、『国民経

- 濟一その歴史的考察』(昭和四十年四月、二十日弘文堂)、「フロンティア・ブックス」)、ロマックス・ヴェーバー研究』(共著、昭和四十年六月、二十日岩波書店)、『社会科学の方法―ヴェーバーとマルクス』(昭和四十一年九月、二十日岩波書店「岩波新書」)、『矢内原忠雄―信仰・学問・生涯』(共編、昭和四十二年八月、二十日岩波書店)、『大塚久雄著作集』全十卷(昭和四十四年一月十七日―四十五年二月、二十日岩波書店)、トマス・C・スミス著『近代日本の農村的起源』(監訳、昭和四十五年八月、二十日岩波書店)、『欧洲経済史』(昭和四十八年六月十一日岩波書店)、『社会科学における人間』(昭和五十二年六月、二十日岩波書店「岩波新書」)、『意味喪失の時代』(生きる』(昭和五十四年一月、二十日日本基督教団出版局)、『国民経済―その歴史的考察』(昭和五十五年二月八日岩波書店)、『近代欧州経済史序説』(昭和五十六年十月十五日岩波書店)等。
- 豊田四郎・井上清・伊豆公夫・浅田光輝・服部之總・中村秀一朗合著『大塚史論批判』(大學新聞連載編、昭和二十二年十一月、二十日大學新聞連載出版部)刊。